

第1回市政モニターアンケート調査結果 「相模原の森林・林業とあなたのかかわりについて」

1. アンケート調査の概要

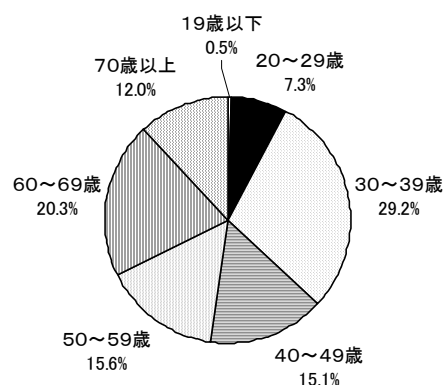
- (1) 対象 市政モニター200人
- (2) 回答者数 192人
- (3) 実施期間 平成22年6月23日から7月7日まで
- (4) 目的 相模原市の森林の有効活用や林業の活性化などを目的として平成22年度に策定する「(仮称)相模原市森林ビジョン」に反映することを目的とする。

2. 各設問と回答状況及び結果概要

【はじめに、あなたご自身やご家族についてお伺いします。】

問1 あなたの年齢をお伺いします。(回答は1つ)

選択肢		回答数	割合%
1	19歳以下	1	0.5%
2	20～29歳	14	7.3%
3	30～39歳	56	29.2%
4	40～49歳	29	15.1%
5	50～59歳	30	15.6%
6	60～69歳	39	20.3%
7	70歳以上	23	12.0%
	計	192	100.0%



○年齢については、「30～39歳 (29.2%)」が最も多く、次いで「60～69歳 (20.3%)」「50～59歳 (15.6%)」の順となった。

問2 あなたの性別をお伺いします。(回答は1つ)

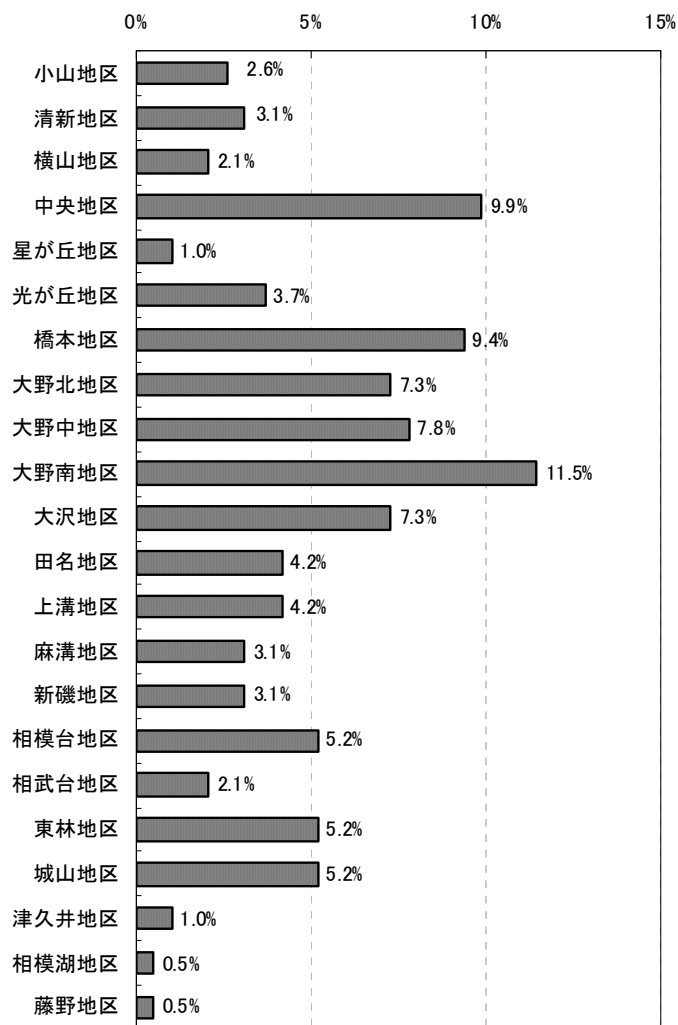
選択肢		回答数	割合%
1	男性	85	44.3%
2	女性	107	55.7%
	計	192	100.0%



○性別については、「女性 (55.7%)」の方が多くなった。

問3 あなたのお住まいの地区をお伺いします。(回答は1つ)

選択肢		回答数	割合%
1	小山地区	5	2.6%
2	清新地区	6	3.1%
3	横山地区	4	2.1%
4	中央地区	19	9.9%
5	星が丘地区	2	1.0%
6	光が丘地区	7	3.7%
7	橋本地区	18	9.4%
8	大野北地区	14	7.3%
9	大野中地区	15	7.8%
10	大野南地区	22	11.5%
11	大沢地区	14	7.3%
12	田名地区	8	4.2%
13	上溝地区	8	4.2%
14	麻溝地区	6	3.1%
15	新磯地区	6	3.1%
16	相模台地区	10	5.2%
17	相武台地区	4	2.1%
18	東林地区	10	5.2%
19	城山地区	10	5.2%
20	津久井地区	2	1.0%
21	相模湖地区	1	0.5%
22	藤野地区	1	0.5%
	計	192	100.0%

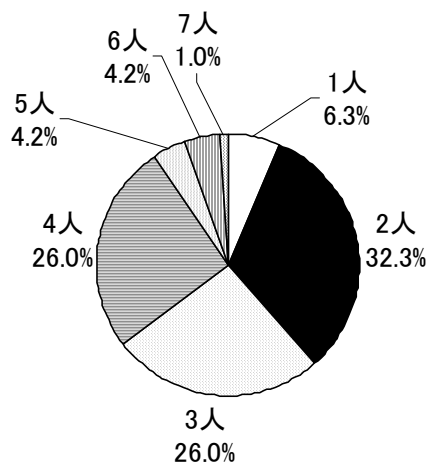


○ 居住地区については、「大野南地区(11.5%)」が最も多く、次いで「中央地区(9.9%)」「橋本地区(9.4%)」の順となった。

問4 あなたを含めた、同居されているご家族の人数（世帯人員）をお伺いします。（回答は1つ）

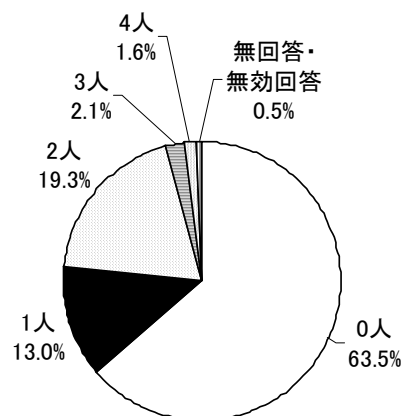
<世帯人員>

選択肢		回答数	割合%
1	1人	12	6.3%
2	2人	62	32.3%
3	3人	50	26.0%
4	4人	50	26.0%
5	5人	8	4.2%
6	6人	8	4.2%
7	7人	2	1.0%
	計	192	100.0%



<うち、中学生以下のお子様>

選択肢		回答数	割合%
1	0人	122	63.5%
2	1人	25	13.0%
3	2人	37	19.3%
4	3人	4	2.1%
5	4人	3	1.6%
6	無回答・無効回	1	0.5%
	計	192	100.0%

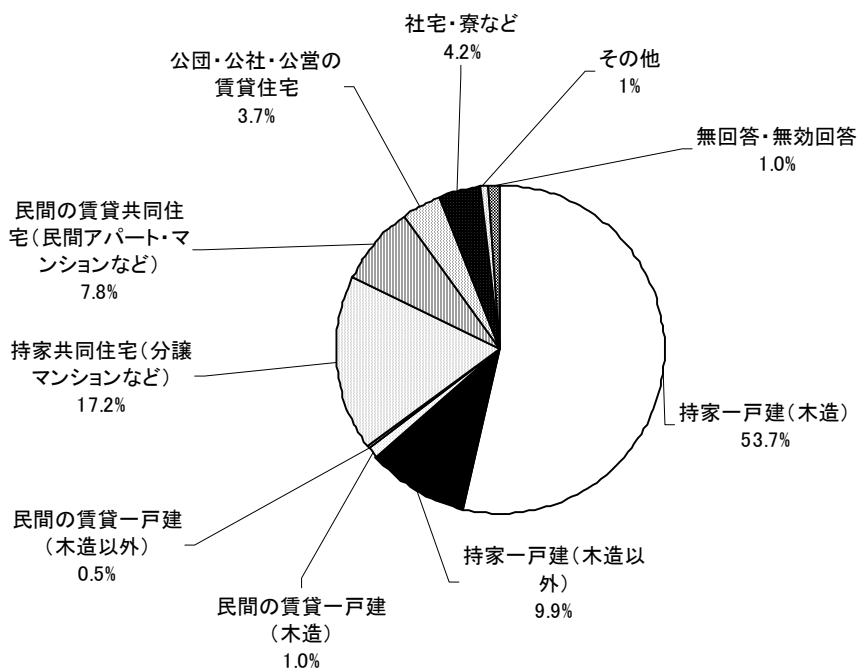


○同居している家族の人数（世帯人員）については、「2人（32.3%）」が最も多く、次いで「3人」と「4人」が26.0%で同数だった。また、中学生以下の子供の人数については、「0人（63.5%）」が最も多く、次いで「2人（19.3%）」「1人（13.0%）」の順となった。

問5 あなたのお住まいについてお伺いします。(回答は1つ)

選択肢		回答数	割合%
1	持家一戸建(木造)	103	53.7%
2	持家一戸建(木造以外)	19	9.9%
3	民間の賃貸一戸建(木造)	2	1.0%
4	民間の賃貸一戸建(木造以外)	1	0.5%
5	持家共同住宅(分譲マンションなど)	33	17.2%
6	民間の賃貸共同住宅(民間アパート・マンションなど)	15	7.8%
7	公団・公社・公営の賃貸住宅	7	3.7%
8	社宅・寮など	8	4.2%
9	その他(その他の内容を具体的にお書きください。) (回答用紙へ記入)	2	1.0%
10	無回答・無効回答	2	1.0%
	計	192	100.0%

○ 居住形態については、「持家一戸建(木造)(53.7%)」が最も多く、次いで「持家共同住宅(分譲マンションなど)(17.2%)」「持家一戸建(木造以外)(9.9%)」の順となった。



【あなたご自身の森林や山とのかかわりについてお伺いします。】

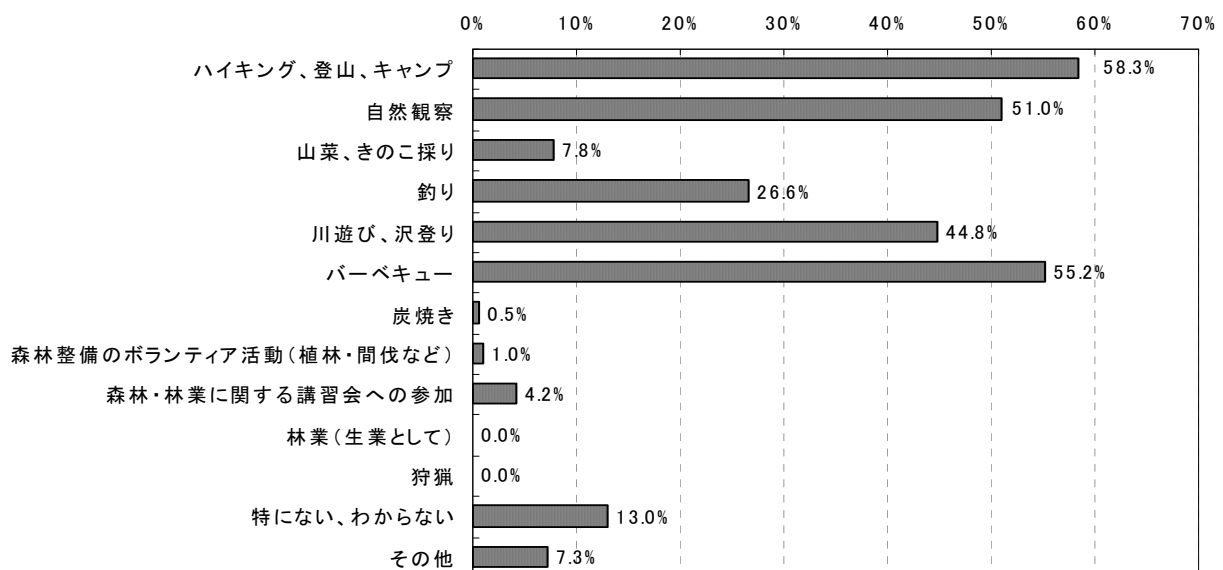
問6 あなたは、相模原市内の森林や山間部でどのような活動をしたことがありますか。(該当するものはいくつでも)

(対象者数=192人)

選択肢		回答数	割合%
1	ハイキング、登山、キャンプ	112	58.3%
2	自然観察	98	51.0%
3	山菜、きのこ採り	15	7.8%
4	釣り	51	26.6%
5	川遊び、沢登り	86	44.8%
6	バーベキュー	106	55.2%
7	炭焼き	1	0.5%
8	森林整備のボランティア活動(植林・間伐など)	2	1.0%
9	森林・林業に関する講習会への参加	8	4.2%
10	林業(生業として)	0	0.0%
11	狩猟	0	0.0%
12	特にない、わからない	25	13.0%
13	その他(その他の内容を具体的にお書きください。) (回答用紙へ記入)	14	7.3%

○相模原市内の森林や山間部での活動経験については、「ハイキング、登山、キャンプ (58.3%)」が最も多く、次いで「バーベキュー (55.2%)」「自然観察 (51.0%)」の順となった。

○「森林整備のボランティア活動(植林・間伐など)」「森林・林業に関する講習会への参加」「林業(生業として)」など、林業関連の活動の回答は少なくなった。



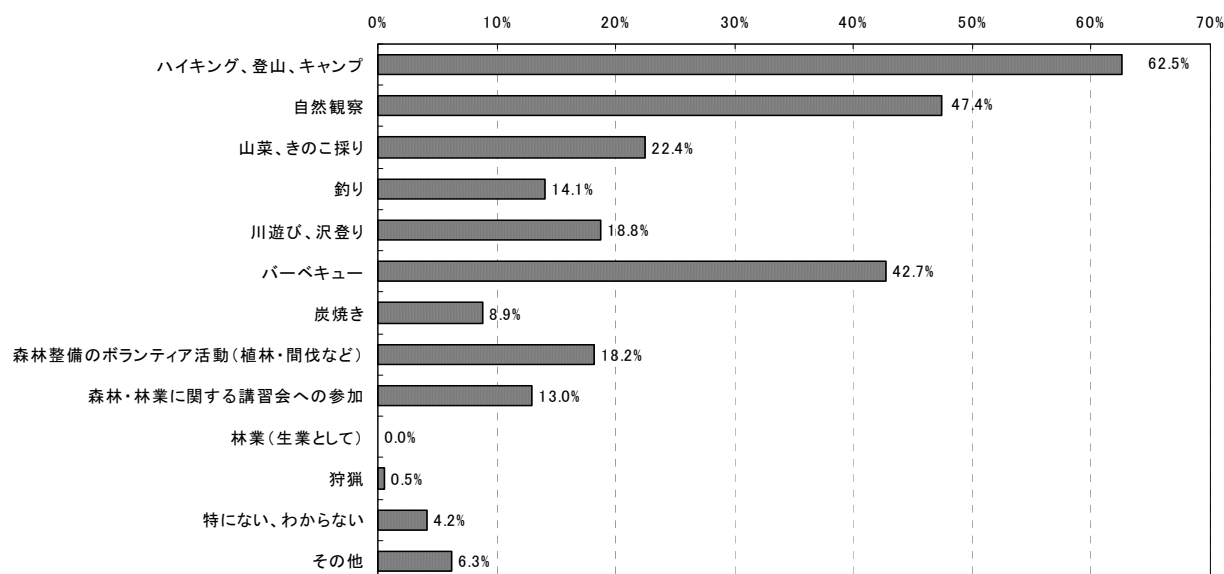
問7 あなたは、今後、相模原市内の森林や山間部で特にどのような活動をしたいと思いますか。(回答は3つまで)

(対象者数=192人)

選択肢		回答数	割合%
1	ハイキング、登山、キャンプ	120	62.5%
2	自然観察	91	47.4%
3	山菜、きのこ採り	43	22.4%
4	釣り	27	14.1%
5	川遊び、沢登り	36	18.8%
6	バーベキュー	82	42.7%
7	炭焼き	17	8.9%
8	森林整備のボランティア活動(植林・間伐など)	35	18.2%
9	森林・林業に関する講習会への参加	25	13.0%
10	林業(生業として)	0	0.0%
11	狩猟	1	0.5%
12	特にない、わからない	8	4.2%
13	その他(その他の内容を具体的にお書きください。) (回答用紙へ記入)	12	6.3%

○相模原市内の森林や山間部で、今後したいと思う活動については、「ハイキング、登山、キャンプ(62.5%)」が最も多く、次いで「自然観察(47.4%)」「バーベキュー(42.7%)」の順となった。

○問6(活動経験)よりも回答割合が高くなったのは、「ハイキング、登山、キャンプ」「山菜、きのこ採り」「炭焼き」「森林整備のボランティア活動(植林・間伐など)」「森林・林業に関する講習会への参加」「狩猟」の6つであった。林業関連の活動の中でも、「森林整備のボランティア活動(植林・間伐など)」「森林・林業に関する講習会への参加」で回答割合の増加がみてとれる。

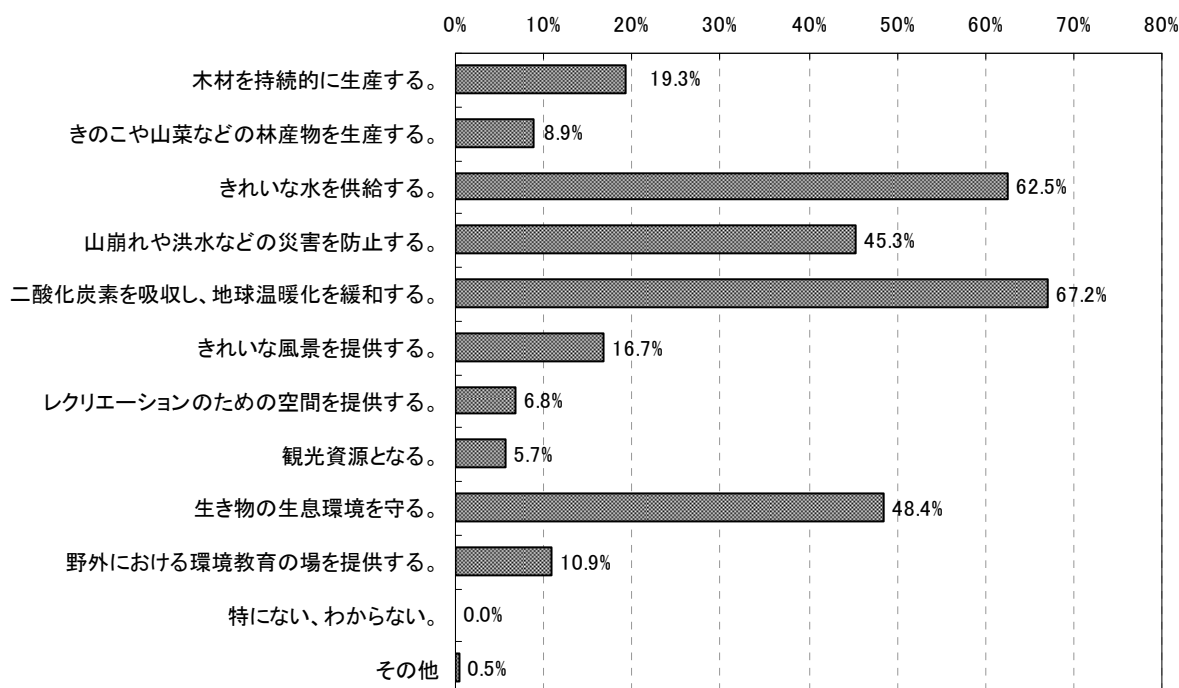


問8 森林には多くの役割があるといわれています。その中で、あなたご自身にとっては、どの役割が特に重要だと思いますか。(回答は3つまで)

(対象者数=192人)

選択肢		回答数	割合%
1	木材を持続的に生産する。	37	19.3%
2	きのこや山菜などの林産物を生産する。	17	8.9%
3	きれいな水を供給する。	120	62.5%
4	山崩れや洪水などの災害を防止する。	87	45.3%
5	二酸化炭素を吸収し、地球温暖化を緩和する。	129	67.2%
6	きれいな風景を提供する。	32	16.7%
7	レクリエーションのための空間を提供する。	13	6.8%
8	観光資源となる。	11	5.7%
9	生き物の生息環境を守る。	93	48.4%
10	野外における環境教育の場を提供する。	21	10.9%
11	特にない、わからない。	0	0.0%
12	その他(その他の内容を具体的に書きください。) (回答用紙へ記入)	1	0.5%

○回答者にとって特に重要だと思う森林の役割については、「二酸化炭素を吸収し、地球温暖化を緩和する。(67.2%)」が最も多く、次いで「きれいな水を供給する。(62.5%)」「生き物の生息環境を守る。(48.4%)」「山崩れや洪水などの災害を防止する。(45.3%)」の順となった。



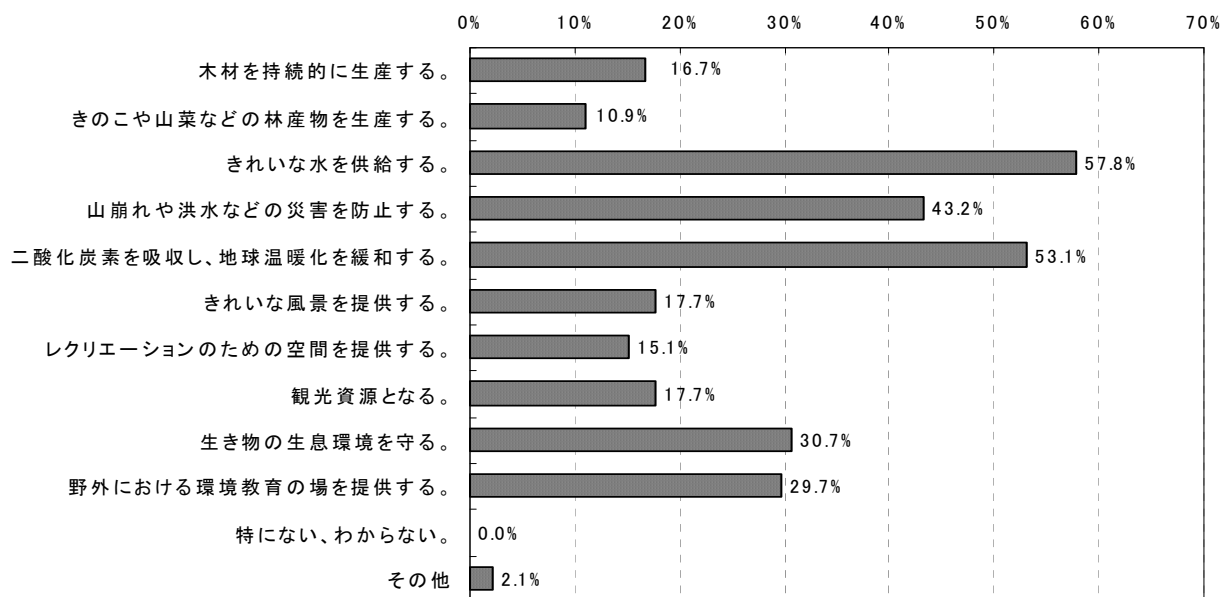
問 8-1 相模原市民全体にとっては、森林のどの役割が特に重要だと思いますか。(回答は3つまで)

(対象者数=192人)

選択肢		回答数	割合%
1	木材を持続的に生産する。	32	16.7%
2	きのこや山菜などの林産物を生産する。	21	10.9%
3	きれいな水を供給する。	111	57.8%
4	山崩れや洪水などの災害を防止する。	83	43.2%
5	二酸化炭素を吸収し、地球温暖化を緩和する。	102	53.1%
6	きれいな風景を提供する。	34	17.7%
7	レクリエーションのための空間を提供する。	29	15.1%
8	観光資源となる。	34	17.7%
9	生き物の生息環境を守る。	59	30.7%
10	野外における環境教育の場を提供する。	57	29.7%
11	特にない、わからない。	0	0.0%
12	その他(その他の内容を具体的にお書きください。) (回答用紙へ記入)	4	2.1%

○相模原市民全体にとって特に重要だと思う森林の役割については、「きれいな水を供給する。(57.8%)」が最も多く、次いで「二酸化炭素を吸収し、地球温暖化を緩和する。(53.1%)」「山崩れや洪水などの災害を防止する。(43.2%)」の順となった。

○問 8 (回答者自身にとって重要な役割) よりも回答割合が高くなったのは、「きのこや山菜などの林産物を生産する。」「きれいな風景を供給する。」「レクリエーションのための空間を提供する。」「観光資源となる。」「野外における環境教育の場を提供する。」「その他」の6つであった。中でも、「野外における環境教育の場を提供する。」の役割については18.8ポイント高くなっている。

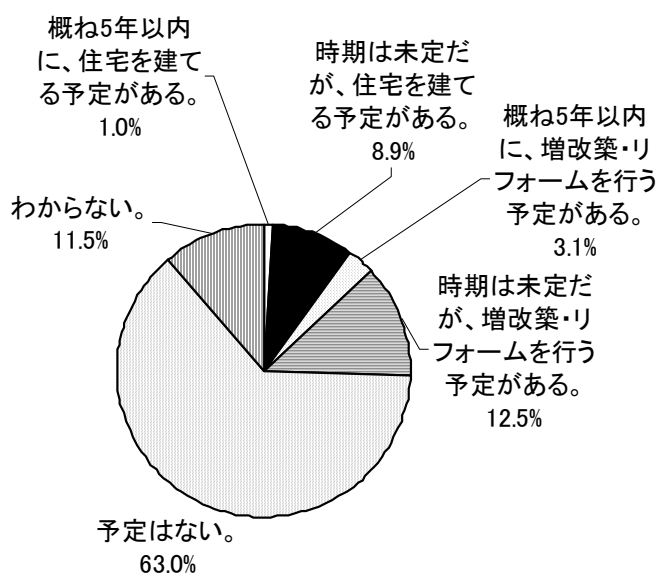


問9 あなたのご家庭では、今後住宅を建てたり、増改築・リフォームを行う予定がありますか。(回答は1つ)

選択肢		回答数	割合%
1	概ね5年以内に、住宅を建てる予定がある。	2	1.0%
2	時期は未定だが、住宅を建てる予定がある。	17	8.9%
3	概ね5年以内に、増改築・リフォームを行う予定がある。	6	3.1%
4	時期は未定だが、増改築・リフォームを行う予定がある。	24	12.5%
5	予定はない。	121	63.0%
6	わからない。	22	11.5%
	計	192	100.0%

○今後回答者が住宅を建てたり、増改築・リフォームを行う予定については、「予定はない。(63.0%)」が最も多く、次いで「時期は未定だが、増改築・リフォームを行う予定がある。(12.5%)」「わからない。(11.5%)」の順となった。

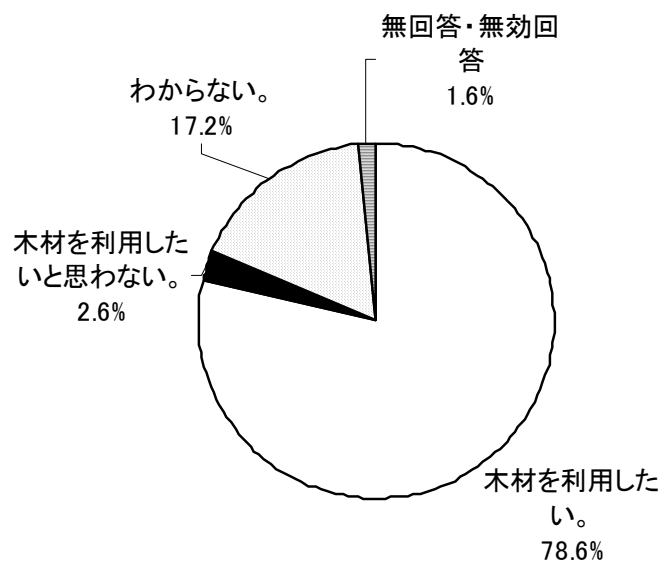
○「概ね5年以内に、住宅を建てる予定がある。」「時期は未定だが、住宅を建てる予定がある。」「概ね5年以内に、増改築・リフォームを行う予定がある。」「時期は未定だが、増改築・リフォームを行う予定がある。」のいずれかと回答した回答者は、全体の25.5%を占めた。



問 10 (住宅建築や増改築・リフォームの予定の有無に関わらず回答してください。) 住宅建築や増改築・リフォームを行う際に、木材を利用してみたいと思いますか。(回答は1つ)

選択肢		回答数	割合%
1	木材を利用したい。	151	78.6%
2	木材を利用したいと思わない。	5	2.6%
3	わからない。	33	17.2%
4	無回答・無効回答	3	1.6%
	計	192	100.0%

○住宅建築や増改築・リフォームを行う際の木材利用意思については、「木材を利用したい。(78.6%)」が最も多く、「木材を利用したいと思わない。(2.6%)」と回答した人はわずかであった。



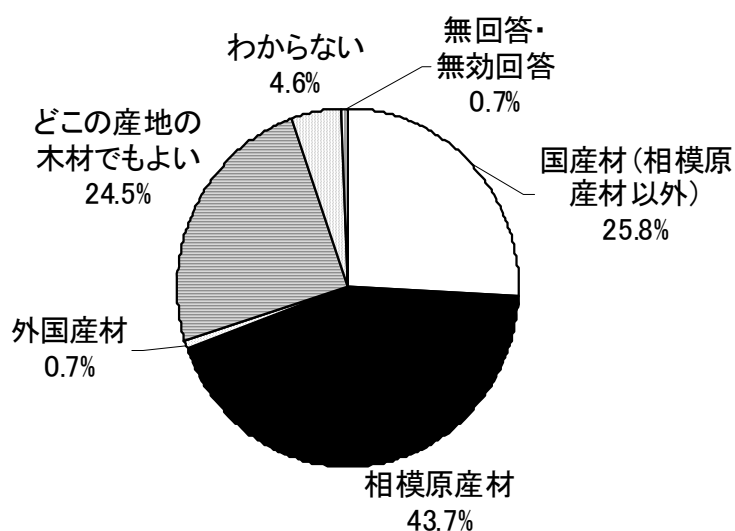
問11 問10で「(1) 木材を利用したい」と回答された方にお伺いします。

木材を利用する場合、どの産地の木材を使ってみたいと思いますか。

木材の価格・品質は同じと仮定した上でお答えください。(回答は1つ)

選択肢		回答数	割合%
1	国産材(相模原産材以外)	39	25.8%
2	相模原産材	66	43.7%
3	外国産材	1	0.7%
4	どこの産地の木材でもよい	37	24.5%
5	わからない	7	4.6%
6	無回答・無効回答	1	0.7%
	計	151	100.0%

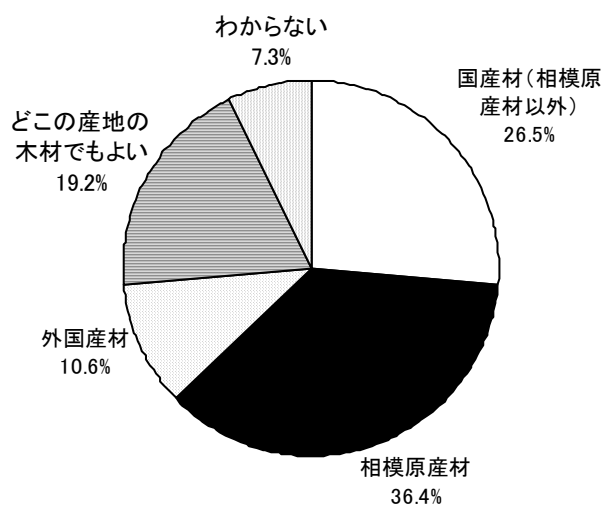
○価格・品質が同じと仮定した場合に使ってみたい木材の産地については、「相模原産材 (43.7%)」が最も多く、次いで「国産材 (相模原産材以外) (25.8%)」「どこの産地の木材でもよい (24.5%)」の順となった。



問 11-1 外国産材よりも国産材・相模原産材の価格が1割程度高い場合、どの産地の木材を使ってみ
たいと思いますか。木材の品質は同じと仮定した上でお答えください。(回答は1つ)

選択肢		回答数	割合%
1	国産材(相模原産材以外)	40	26.5%
2	相模原産材	55	36.4%
3	外国産材	16	10.6%
4	どこの産地の木材でもよい	29	19.2%
5	わからない	11	7.3%
	計	151	100.0%

○国産材・相模原産材の価格が1割高の場合に使ってみたい木材の産地については、「相模原産材
(36.4%)」が最も多かったが、問 11 (同価格の場合) と比べるとやや割合が減少する結果となった。
反対に「外国産材 (10.6%)」と回答した人は、問 11 と比べて増加した。

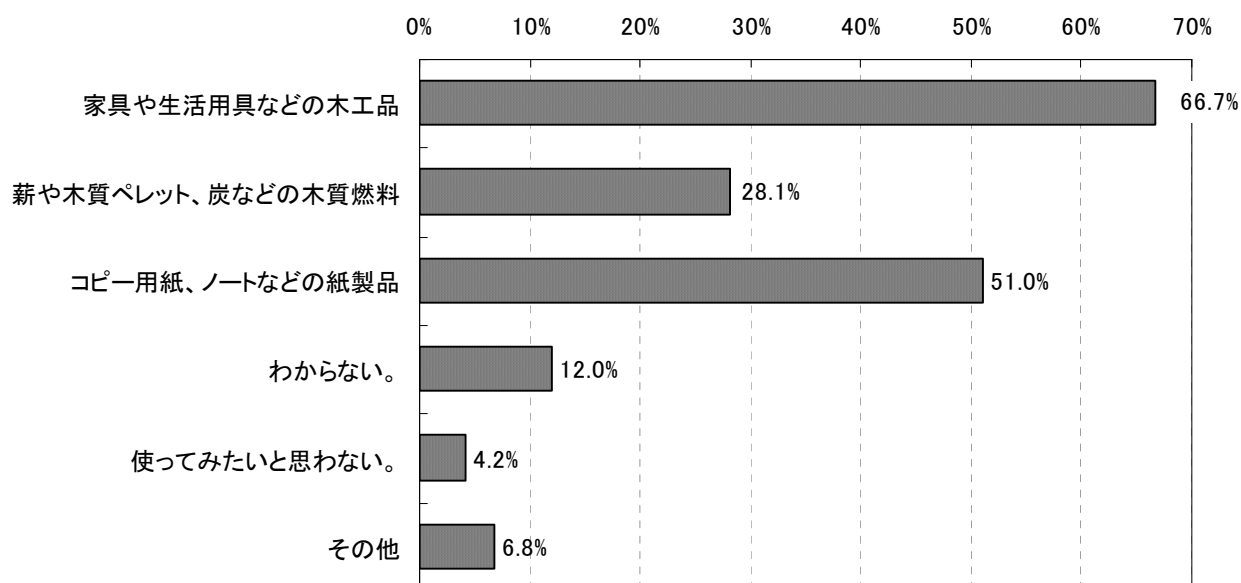


問 12 あなたは日常生活の中で、相模原市内の森林から生産された木材の加工製品（住宅等の建築物以外）を使ってみたいと思いますか。（複数回答可）

（対象者数＝192人）

選択肢		回答数	割合%
1	家具や生活用具などの木工品	128	66.7%
2	薪や木質ペレット、炭などの木質燃料	54	28.1%
3	コピー用紙、ノートなどの紙製品	98	51.0%
4	わからない。	23	12.0%
5	使ってみたいと思わない。	8	4.2%
6	その他(その他の内容を具体的にお書きください。) (回答用紙へ記入)	13	6.8%

○日常生活の中で使ってみたい相模原産材の加工製品については、「家具や生活用具などの木工品（66.7%）」が最も多く、次いで「コピー用紙、ノートなどの紙製品（51.0%）」「薪や木質ペレット、炭などの木質燃料（28.1%）」の順となった。

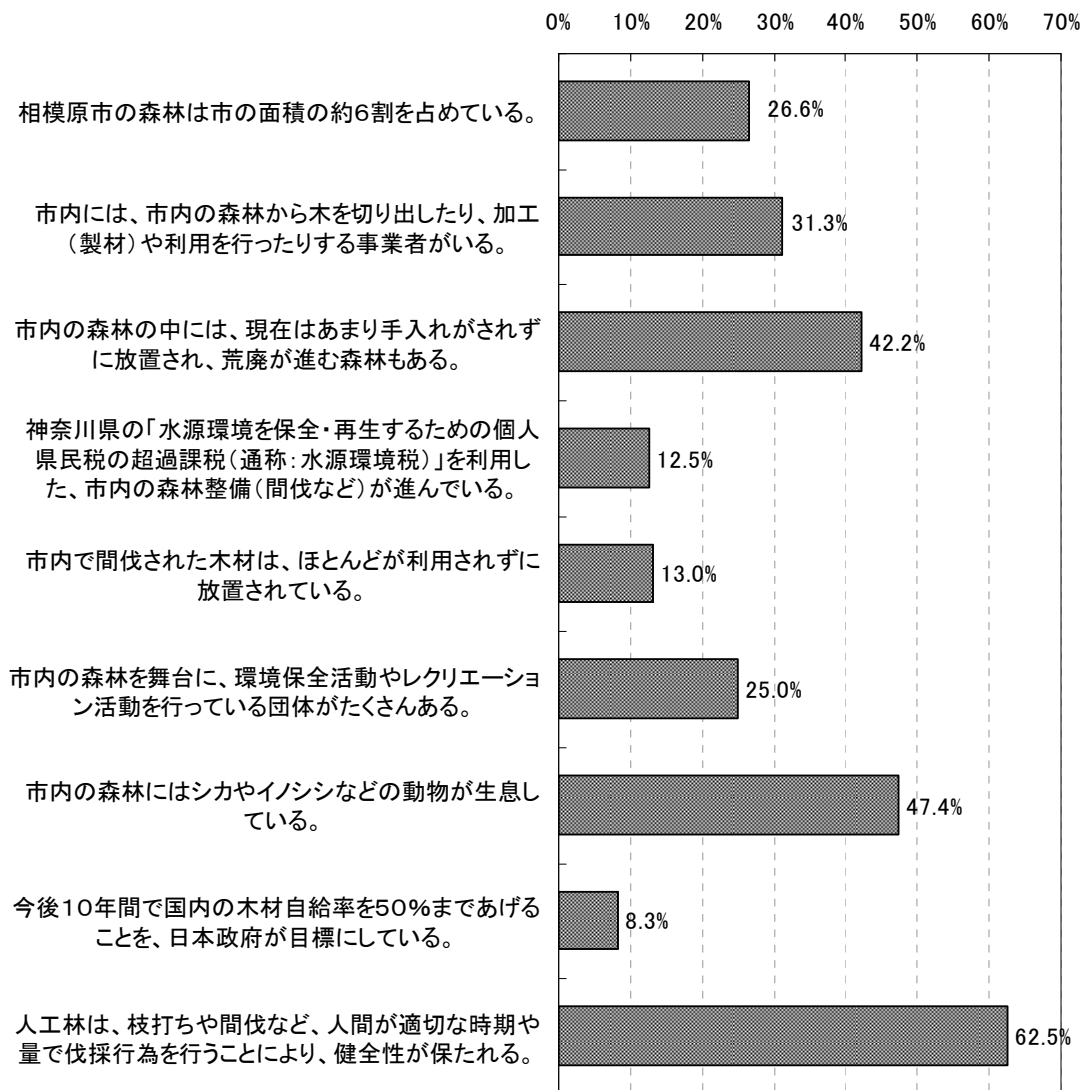


問 13 以下に森林・林業関連のトピックがあります。このうち、あなたをご存じのものをお選びください。(複数回答可)

(対象者数=192人)

選択肢		回答数	割合%
1	相模原市の森林は市の面積の約6割を占めている。	51	26.6%
2	市内には、市内の森林から木を切り出したり、加工(製材)や利用を行ったりする事業者がいる。	60	31.3%
3	市内の森林の中には、現在はあまり手入れがされずに放置され、荒廃が進む森林もある。	81	42.2%
4	神奈川県「水源環境を保全・再生するための個人県民税の超過課税(通称:水源環境税)」を利用した、市内の森林整備(間伐など)が進んでいる。	24	12.5%
5	市内で間伐された木材は、ほとんどが利用されずに放置されている。	25	13.0%
6	市内の森林を舞台に、環境保全活動やレクリエーション活動を行っている団体がたくさんある。	48	25.0%
7	市内の森林にはシカやイノシシなどの動物が生息している。	91	47.4%
8	今後10年間で国内の木材自給率を50%まであげて、日本政府が目標にしている。	16	8.3%
9	人工林は、枝打ちや間伐など、人間が適切な時期や量で伐採行為を行うことにより、健全性が保たれる。	120	62.5%

○森林・林業関連のトピックのうち、知っているとした回答が最も多くなったのは、「人工林は、枝打ちや間伐など、人間が適切な時期や量で伐採行為を行うことにより、健全性が保たれる。(62.5%)」であり、次いで「市内の森林にはシカやイノシシなどの動物が生息している。(47.4%)」「市内の森林の中には、現在はあまり手入れがされずに放置され、荒廃が進む森林もある。(42.2%)」の順となった。また、「今後10年間で国内の木材自給率を50%まであげて、日本政府が目標にしている。(8.3%)」ことを知っているとした回答が最も少なくなった。



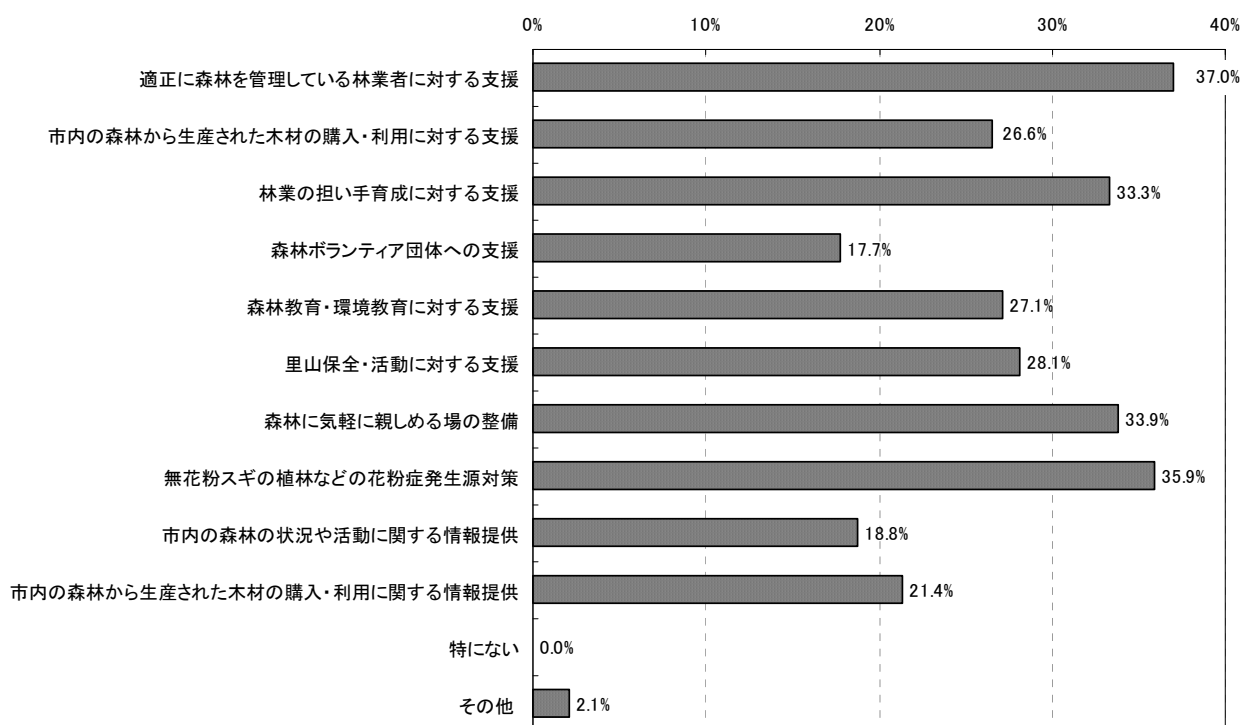
問 14 市が新たに森林・林業関係の取組を行うとしたら、どのような取組を期待しますか。

(回答は3つまで)

(対象者数=192人)

選択肢		回答数	割合%
1	適正に森林を管理している林業者に対する支援	71	37.0%
2	市内の森林から生産された木材の購入・利用に対する支援	51	26.6%
3	林業の担い手育成に対する支援	64	33.3%
4	森林ボランティア団体への支援	34	17.7%
5	森林教育・環境教育に対する支援	52	27.1%
6	里山保全・活動に対する支援	54	28.1%
7	森林に気軽に親しめる場の整備	65	33.9%
8	無花粉スギの植林などの花粉症発生源対策	69	35.9%
9	市内の森林の状況や活動に関する情報提供	36	18.8%
10	市内の森林から生産された木材の購入・利用に関する情報提供	41	21.4%
11	特にない	0	0.0%
12	その他（その他の内容を具体的にお書きください。） (回答用紙へ記入)	4	2.1%

○市に期待する森林・林業関係の取組については、「適正に森林を管理している林業者に対する支援 (37.0%)」が最も多く、次いで「無花粉スギの植林などの花粉症発生源対策 (35.9%)」「森林に気軽に親しめる場の整備 (33.9%)」の順となった。「特にない」と回答した人は一人もいない。



3. 自由回答抜粋

○192名の回答者のうち、「問15 自由回答欄」への記載があったのは144名であった。これらの回答の中では、「相模原市の森林や木材についてほとんど知らなかった」「このアンケートが相模原の森林や林業について知るきっかけになった」「もっと相模原市の森林や木材についてPRしてもらいたい」などの意見が多く見られた。

問15 自由記入 抜粋

分類	回答
森林整備の推進	放置林を間伐し、整備する必要があると思います。ただ、森林を残すのではなく、きちんと手入れして、残すべきだと思います。
木材・森林資源の利活用	森林を保持しつつも、最大限に活用し、相模原市のネームブランドへと、繁るために、相模原の木材を利用した箸や皿などが手頃な価格で生産・販売可能であれば、これらは「相模原の顔」ともなりうるし、老若男女に喜ばれる送りものになるだろうし、いいのではないかと。
	木材の利用にて、販売や加工品で、家具、オモチャ、炭など購入できる場所があれば、購入したいと思います。情報を得られる事の情報欲が強いので、得る方法がわからないので。
	トピックでの問13(5)の項目には少し驚いた。先ずはともかく相模原というか津久井の木材について、有効なPRが必要と感じる。その一つとして、親しめるイメージをもった、「木材と言えば津久井」と言われることが肝要です。大綱は「相模原の森林は楽しい」を大前提とします。森林の楽しさや素晴らしさを体験できる森林、そこから生まれる木材、それらをキャラクターやキャッチフレーズで周知できればと思います。なお、キャラクターやそのキャッチフレーズは「サガミハラ」「ツクイ」をモジッタ言葉がいいと思います。
	相模大野にすんでいると、林業への意識が殆どなく、そういえば、津久井、藤野あたりは森だったと思い、産業として成り立っていけるように、支援を行政でして欲しい。相模原は名産が少ない気がします。名産品製作を目ざして下さい。
森林ボランティア・環境教育・市民参加	最近ではボランティア活動に興味を持つ人も多いため、森林地帯のゴミ拾いや植林活動を募り、市民に参加させることで市民の森林への関心を育てていくことが大事だと思う。市民に限らず、里山への関心も強いので、日帰りで気軽に里山体験できるような施策が必要だと思う。市外からの来訪は経済への影響もあり、相模原市の価値を高めると思う。森林の情報提供や、林業・木材を使った製造業促進もわかるが、森林教育が薄い中での活動よりも、森林教育を高めるほうが将来的にも効果的だと思う。
	普段、木工品や紙製品などを購入する場合に、どこの産地の木材を使っているかは気にしていませんでしたが、それが相模原産材だとわかれば積極的に購入してみたいなと思いました。(今回アンケートをしてみて) 子供達の学校での森林教育、環境活動、レクリエーションはとても良いと思います。今後も盛んに行い、子供の頃から森林への意識を深めていって欲しいと思います。
	相模原の木材を使って、鉛筆などは作れないだろうか。小学生は必ず使うものなので、目にとまる。相模原と木材とはあまり結びつきが強いと思っていたので、知るきっかけになると思う。
身近な住環境の保全	問13にあったものをほとんど全く知りませんでした。シカやイノシシを保護してあげてほしいです。相模原に引っ越してきて3年ですが、昔は上溝にタヌキがいたとか・・・今は跡形もありません。鳥のさえずりは今も美しいですが、木々もどンドン切られていっているようです。近所の林が駐車場になった数日後、小鳥が1羽ですが道端で死んでいるのを見て、残念に思いました。相模原はこれからももっと人口が増えると思いますが、他の街には無い自然との共存のかたちを見つけていけたら素晴らしいだろうなと思います。

分類	回答
PR・情報提供	<p>市内の森林に関する情報提供の活発化を強く希望。例えば、市内森林地区のリクリエーション、観光資源、生態系・植生、環境保全・レクリエーション団体（参加方法）・・・などの情報。今回のアンケートを考えるにあたって、市内（とくに津久井地区）の自然資源に対する知識が極めて乏しいことを再認識。大多数の隣人も小生と大同小異。情報提供活動をより活発化して、市内の森林の素晴らしさや課題を周知徹底することが最重要。市民が知ることで、アンケート内の課題解決へのアイデアも自然と集まってくるものと期待できよう。</p> <p>相模原の森林では何の木が生産されていて、どのように利用されているのか等、森林、林業に関するPRや情報を発信して欲しい。個人的な勉強不足かもしれないが、相模原の林業（特産品等）の現状が良くわからない。</p>
その他	<p>相模原市の都市部に居住しているため、森林のイメージが全くなかったので、もっと色々を知りたいと思いました。</p> <p>花粉症対策として無花粉スギの植林に期待を寄せている。広報誌に随時掲載して欲しい。無花粉スギ植林の効果や費用。</p> <p>「潤水都市 さがみはら」のシティセールスコピーを初めて知った時、合併前の相模原のイメージとはちょっと違うのでは？という感想でした。現地でも私の周辺のほとんどの人は津久井地域の環境について認識している人は少ないと思う。今回、第1回目のモニターで取り上げられたことで、市政の取り組みが伺えるが、市民への浸透については浅いので、今後更なるPRに取り組むことが大切。環境問題と林業について公民館等で講座を開催するのも一案。</p>